

テレコントロール装置
XSL-100B
＜受付電話解錠装置＞
取扱説明書

Ver.118 BA0H19

<目次>

1.	概要	3
2.	各部の名称と接続	4
3.	付属品	5
4.	本装置の操作	6
5.	遠隔操作方法	6
6.	制御機器の出力を制御する(遠隔操作)	7
6-1.	制御機器の状態を確認する	7
6-2.	制御機器の出力をオフする	7
6-3.	制御機器の出力をオンする	8
6-4.	解錠番号を使って制御機器の出力をオンする	8
7.	装置の詳細設定(遠隔操作)	9
7-1.	パスワードの設定	10
7-2.	呼び出し時間の設定	10
7-3.	出力オン後に自動的にオフする設定	10
7-4.	出力オフ後に自動的にオンする設定	10
7-5.	着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定	11
7-6.	音声ガイダンスの変更	11
7-7.	音声ガイダンス遅延時間の設定	12
7-8.	解錠番号の登録	12
7-9.	全ての設定を初期化する	13
8.	装置の詳細設定(装置の「TEL」に接続した電話機にて直接設定)	13
9.	サービスコード一覧	15
9-1.	制御項目一覧	15
9-2.	設定項目一覧	16
10.	リレー接点出力	18
11.	仕様一覧	19
12.	使用上の注意	19

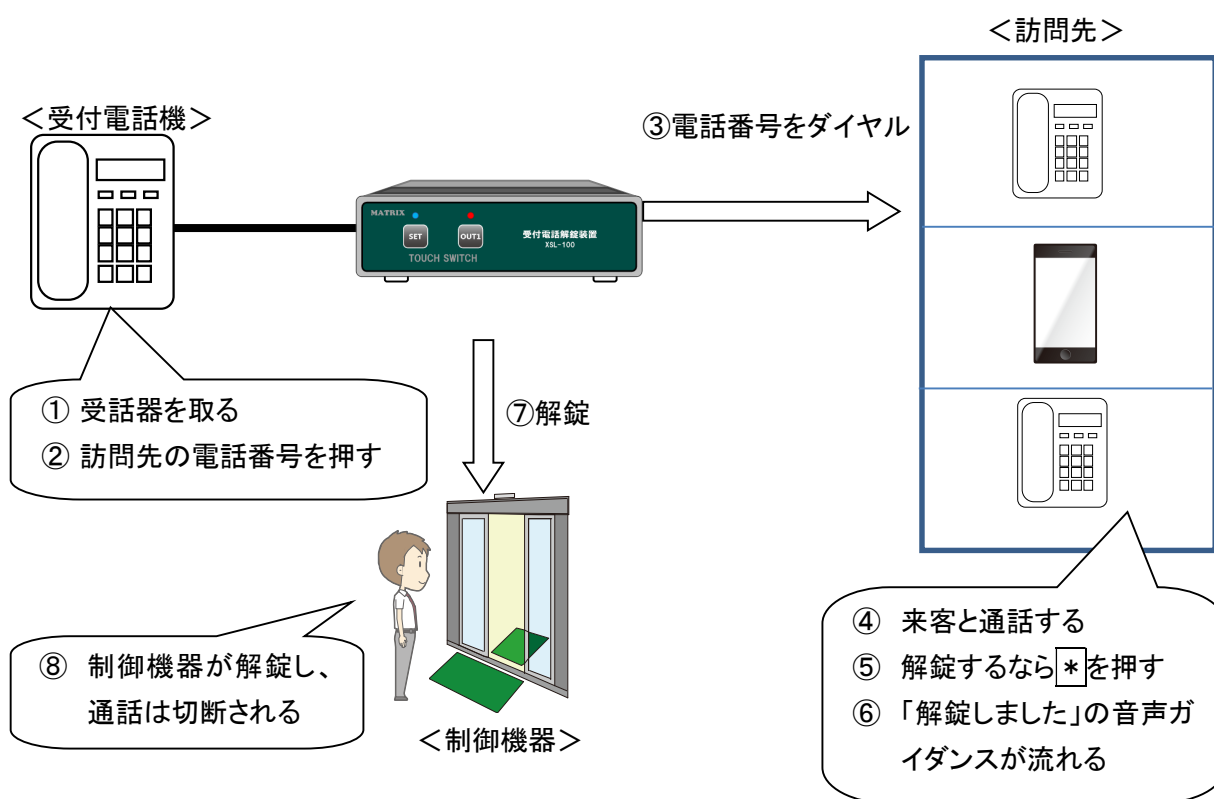
1. 概要

テレコントロールスイッチ XSL-100 は、オフィス等の玄関入口に設置し、受付電話機と自動ドア(電気錠など)の解錠信号を接続し、電話解錠装置として使用します。

通常玄関ドアはロックされており、来訪者は受付電話機から訪問先の電話番号を押し訪問先に連絡を取ります。通話が可能となった後、訪問先の電話機で*が押されると自動ドアが開き来訪者は中へ入ることができるようになります。

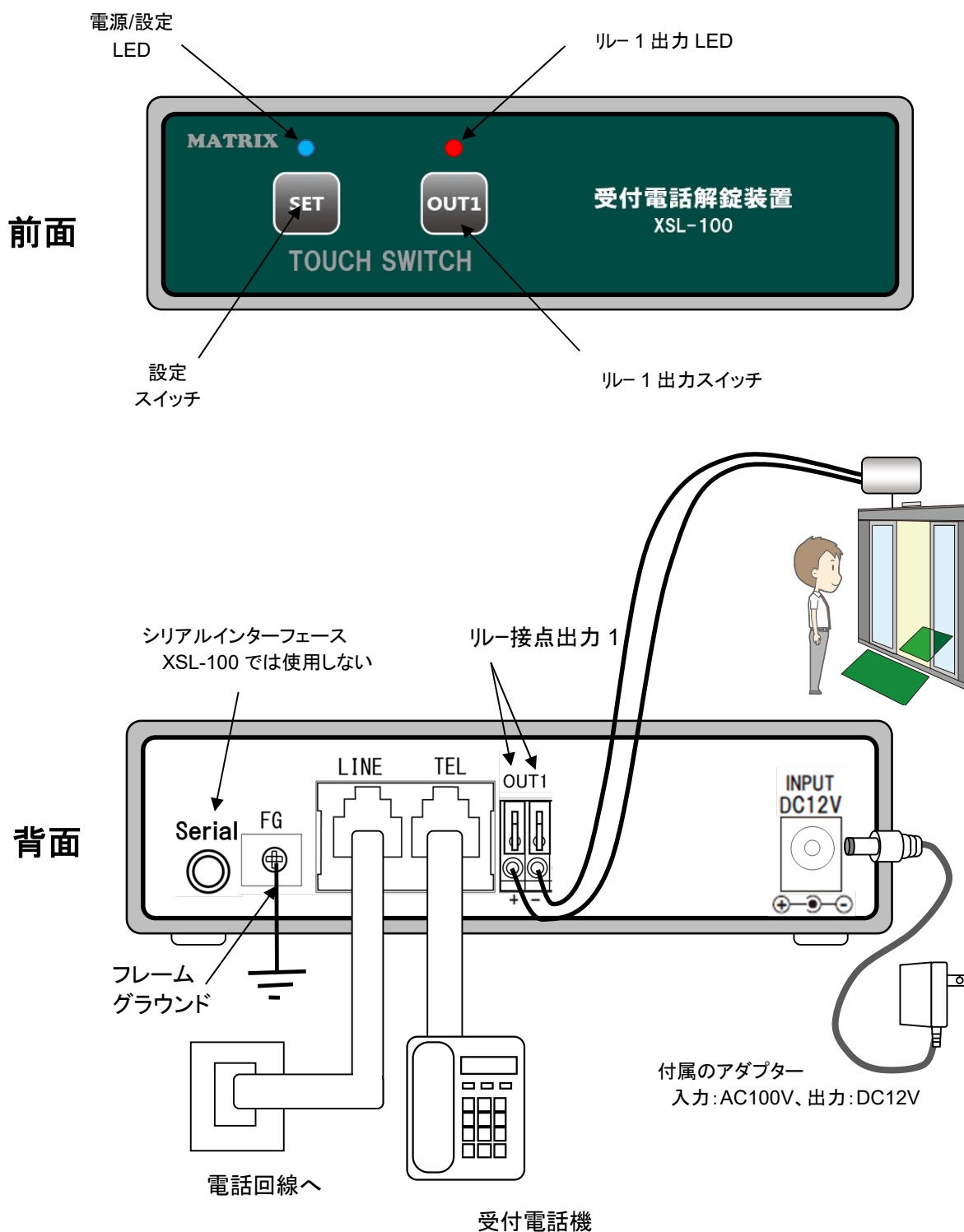
操作する電話機がトーンダイヤルで無い場合は*を一度押してトーン信号がでるようにしてからもう一度*を押してください。

この取扱説明書においては、「テレコントロールスイッチ XSL-100」を「本装置」、電気錠、自動ドア等を「制御機器」と表記することがあります。あらかじめご了承ください。



- 本装置のリレー接点に、自動ドアあるいは電気錠(制御機器)の解錠信号を接続します。出力ボタンを押すと、制御機器の出力のオン・オフが可能となります。本装置に電話を掛けて、音声ガイダンスに従って行う遠隔操作でも、制御機器の出力のオン・オフが可能です。制御機器の出力がオンされるとLEDが点灯します。
- 本装置のLINEジャックに、電話回線(アナログ回線)を接続します。
- 本装置の電源が切れても、制御機器の出力のオン・オフの状態を記憶しています。再起動すると、自動的に本装置の電源が切れた時の状態に戻ります。

2. 各部の名称と接続

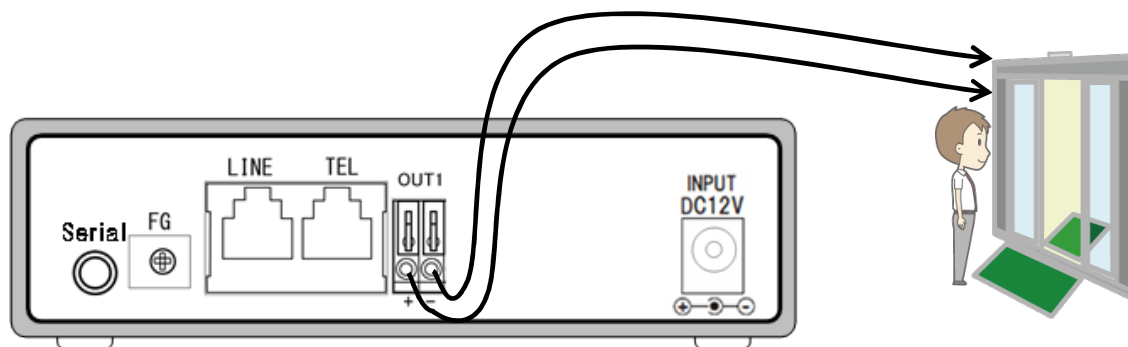


- ① FG(フレームグラウンド)は大地に対して低い抵抗で接地してください。
- ② 制御機器の制御信号の接続を行ってください。
- ③ 最後に、付属のアダプタを接続し電源を入れてください。

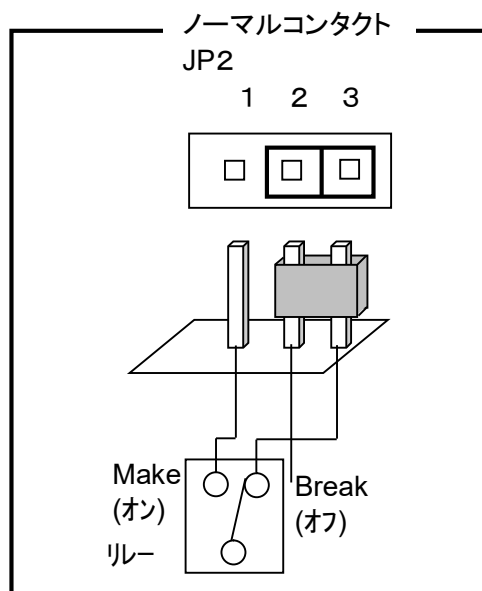
<制御機器の接続の注意点>

制御機器を、本装置のリレー接点出力に接続します。リレー接点出力の最大定格は24V 1Aです。

「OUT1+」と「OUT1-」が A 接点(ドライ接点)です。



OUT1+/-は、ノーマルオープンとノーマルコンタクトを本体内部の JP2 により切り替えることができます。(ノーマルオープン:①②をショート(出荷時)。ノーマルコンタクト:②③をショート)
切替えは、電源 off の状態で行ってください。



3. 付属品

付属品としては以下のものが同梱されています。ご確認ください。

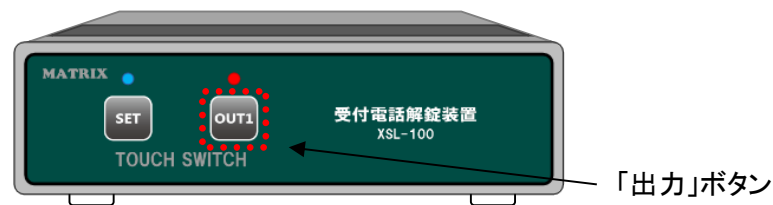
- | | |
|------------|--------|
| ・ 装置本体 | 1台 |
| ・ ACアダプター | 1台 |
| ・ モジュラケーブル | 1本 |
| ・ 取扱説明書 | 1冊(本誌) |

4. 本装置の操作

本装置が動作中は、「SET」SW上のLEDが点灯します。

遠隔操作中は点滅します。

制御機器を解錠する(出力をオンする)には「出力」ボタンに軽くタッチします。



解錠(出力オン)すると「出力」ボタン上のLEDが点灯します。

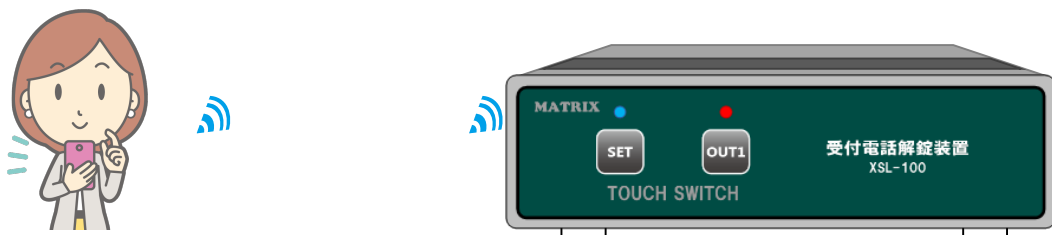
初期設定では、5秒後に自動的に施錠し「出力」ボタン上のLEDが消灯します。

尚、遠隔操作で出力オン・オフする場合は、「6.制御機器の出力を制御する(遠隔操作)」を参照して操作して下さい。

※本装置を再起動した場合は、再起動前の制御機器の出力オン・オフ状態に戻ります。

5. 遠隔操作方法

本装置の遠隔操作は、本装置に電話をかけて音声ガイダンスに従って操作します。



※本装置は、電話機のトーン信号(ダイヤルをする毎にピッポッパツのような音)を感知して各種の動作を行います。

パルス式電話機の場合は[*]を押してトーン信号がでるように切り替えてから操作して下さい。

下記の手順で行って下さい。

- ① 本装置が接続されている電話回線に電話をかけます。

- ② 着信すると「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。

[パスワード][#]を押します。

パスワードの初期設定は「7890」に設定されています。

したがって「7890#」を押します。

パスワードが正しい場合は「ピー」という音が鳴ります

パスワードが間違っている場合は「ブー」という音になり、「もう一度パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れ、再度パスワードを入力する事ができます。

3回間違えると電話が切れます。

10秒以上何も入力を行わないと「ブー」という警告音とともに電話が切れます。

- ③ 正しいパスワードを入力すると「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
- ④ 本装置を遠隔操作するには、操作毎に決められたサービスコードを入力して行います。
接続している機器の出力を制御する場合は、「6.制御機器の出力を制御する」を参照して、操作して下さい。
本装置の動作環境の設定を変更する場合は、「11.設定方法」を参照して操作して下さい。
- ⑤ 各操作が完了すると、再び「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
- ⑥ 続けて、次の操作項目に応じたサービスコードを入力してください。

操作が完了した場合は、電話を切して下さい。

※電話を切った後に、再び遠隔操作を開始する場合は、1分程度待ってから電話を掛けて下さい。

6. 制御機器の出力を制御する(遠隔操作)

本装置で制御している自動ドア・電気錠の出力の状態の確認、出力オン・オフを遠隔操作で行います。

この操作は、「5.遠隔操作方法」を参照して、パスワード入力後「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れてから操作して下さい。

6-1. 制御機器の状態を確認する

制御機器への出力状態を確認する事ができます。

サービスコード : [6][1][#]

OUT1 の出力設定状態を確認

例: 「6」「1」「#」 OUT1 がオンの時:「リレー1・オン」の音声ガイダンスが流れます。

OUT1 がオフの時:「リレー1・オフ」の音声ガイダンスが流れます。

OUT1 は本装置内部の JP2 の設定で出力状態が反転する場合があります(図 10-1 参照)。

6-2. 制御機器の出力をオフする

制御機器の出力をオフすることができます。

サービスコード : [8][1][#]

設定完了後に、「リレーオフしました」の音声ガイダンスが流れます。(設定により音声ガイダンスが変更されている場合があります。)

6-3. 制御機器の出力をオンする

制御機器の出力をオンすることができます。

サービスコード : [9][1][#]

設定完了後に、「リレーオンしました」の音声ガイダンスが流れます。(※設定により音声ガイダンスが変更されている場合があります。)

6-4. 解錠番号を使って制御機器の出力をオンする

「解錠番号」+「#」 で出力をオンする事ができます。

自動ドアや電気錠を遠隔操作で解錠する場合の機能で、パスワードを入力せずに解錠する事が出来ます。

解錠番号は 3 個まで登録可能です。解錠番号には 4 桁の数字を登録しますが、「パスワードと同じ番号」及び「0000」を登録する事はできません。

解錠番号の登録は、「[7-8.解錠番号の登録](#)」を参照して行って下さい。

解錠するには、下記の手順で行って下さい。

- ① 本装置が接続されている電話回線に電話をかけます。
- ② 着信すると「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
- ③ 解錠番号を押した後、「#」を押すと制御機器が解錠します。

※パスワードを「9999」に設定して、パスワードの問い合わせを省いている場合は、解錠番号を使って解錠する事ができません。

7. 装置の詳細設定(遠隔操作)

本装置の動作環境を設定するサービスコードを記載します

この操作は、「5.遠隔操作方法」を参照して、パスワード入力後「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れてから操作して下さい。

<遠隔地から電話をかけて設定する方法>

- ① 「5.遠隔操作方法」を参照して、本装置に電話を掛けて遠隔操作を開始します。
- ② 「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れてから、オンライン設定のサービスコードを押します。
[0000] [#]
オンライン設定を開始する場合は、必ずこのサービスコード(0000#)を入力してから行います。
- ③ 電話呼出し中に、本装置の「SET」ボタンを押すと、本装置が着信し、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。パスワードを入力後、サービスコード(0000#)を入力するとオンライン設定が開始されます。(電話回線接続の場合のみ)

電話設定が開始したら、設定内容によって、「7-1.パスワードの設定」～「7-9.全ての設定を初期化する」を参照して操作して下さい。

設定で変更できるのは下記の項目です。

- パスワード
- 呼び出し時間
- 出力オフ後に自動的にオンするまでの時間
- 出力オン後に自動的にオフするまでの時間
- 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる
- 音声ガイダンスの変更
- 音声ガイダンス遅延時間
- 解錠番号の登録
- 全ての設定を初期化する

注意：工場出荷時には、XSL-100 機能として下記のサービスコードが既に設定されています。

- ・出力オン後に自動的にオフするまでの時間を 5 秒に設定(サービスコード:04115#)
- ・音声ガイダンス(施錠・解錠しました)の変更(サービスコード:0713#)
- ・ラインモニタ機能の設定

訪問先の電話機から電気錠・自動ドアを解錠するために押すボタンの設定

- ◇ [*]を 1 回(1 秒程度)押すと解錠(サービスコード:032# :工場出荷時)
- ◇ [*]を 2 回押すと解錠 (サービスコード:033#)
- ◇ [*] [1]を押した時に解錠 (サービスコード:034#)

全ての設定を初期化した時は、再び受付電話機能を有効にするために、上記の設定を行う必要があります。04115#、0713#、032#

7-1. パスワードの設定

パスワードを変更する事ができます。

初期設定は「7890」が設定されていますが、セキュリティ上変更する事をお勧めします。

サービスコード : [01][パスワード][#]

(例)パスワードを「4567」に設定する場合

014567#

※パスワードに「9999」を設定すると、遠隔操作を開始する時のパスワードの問い合わせを省く事ができます。

7-2. 呼び出し時間の設定

本装置に電話を掛けてから、自動的に応答するまでの時間を変更します。

初期設定は、6 秒に設定されています。

本装置と電話機を併設している場合に、本装置の応答を遅らせたい時に設定して下さい。

併設した電話機で受話器を取る前に本装置が応答するのを防ぎます。

サービスコード : [021][呼び出し時間(秒数)][#]

[呼び出し時間(秒数)] : 1~99 秒まで設定可能

(例)呼び出し時間を 30 秒に設定する場合

02130#

7-3. 出力オン後に自動的にオフする設定

出力ボタンを押すか、遠隔操作で出力オンした時に、一定時間後に自動的にオフに戻ります。

電気錠や自動ドアを一時的に出力オンして解錠させるような場合に設定して下さい。

サービスコード : [041][1][オフまでの時間(秒数)][#]

[オフまでの時間(秒数)] : 1~9999 秒まで設定可能

(例)リレー番号 1 の制御機器をオンしてからオフするまでの時間を 5 秒に設定する場合

04115#

※設定を解除する場合

サービスコード : [040][1][#]

7-4. 出力オフ後に自動的にオンする設定

出力ボタンを押すか、遠隔操作で出力オフした時に、一定時間後に自動的にオンします。

サービスコード : [042][1][オンまでの時間(秒数)][#]

[オンまでの時間(秒数)] : 1~9999 秒まで設定可能

(例)リレー番号 1 の制御機器をオフしてからオンするまでの時間を 30 秒に設定する場合

042130#

※設定を解除する場合

サービスコード : [040][1][#]

7-5. 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定

本装置で着信した時に、サービスコードを入力せずに、自動的に出力オン・オフさせる事ができます。

出力オフする : [06][1][1][#]

出力オンする : [06][1][2][#]

(例)リレー番号 1 の制御機器を自動的にオンさせる場合

0612#

※設定を解除する場合(自動的に出力オン・オフしない)

サービスコード : [06][1][0][#]

さらに、パスワードを「9999」に設定しておけば、パスワードもサービスコードも入力せず着信するだけで出力オン・オフを実行する事ができます。

パスワードを変更する場合は、「7-1.パスワードの設定」を参照して操作して下さい。

自動的に出力オン・オフした後に、電話回線を切断させる事ができます。

サービスコード : [037][#]

この設定を行った場合、電話回線を切断するまでに 10 秒程度の無音状態があります。

この無音状態の間にサービスコードを入力すれば、通常の遠隔操作も可能となります。

※設定を解除する場合(電話回線の切断をしない)

サービスコード : [038][#]

7-6. 音声ガイダンスの変更

本装置で制御機器の出力オン・オフした時に流れる音声ガイダンスを変更できます。

サービスコード : [07][1][コード][#]

受付電話機能<XSL-100>では「コード」の「3」が、出荷時設定されています。

受付電話機にも音声ガイダンスが流れます。

コード	操作	音声メッセージ
0	出力オフ	リレーオフしました
	出力オン	リレーオンしました
1	出力オフ	解錠しました
	出力オン	施錠しました
2	出力オフ	施錠しました
	出力オン	解錠しました
3	出力オフ	施錠しました
	出力オン	解錠しました
4	出力オフ	エアコンオフしました
	出力オン	エアコンオンしました

↑

7-7. 音声ガイダンス遅延時間の設定

携帯電話の機種によっては、着信後数秒間、音声ガイダンスが聞こえない場合があります。その場合は、着信してから音声ガイダンスが始まるまでの時間を遅らせる事ができます。

サービスコード : [022][遅延時間(秒数)][#]

[遅延時間(秒数)] : 0~9 秒まで設定可能

(例)遅延時間に「8」を設定する場合 0228#

7-8. 解錠番号の登録

解錠番号を使って制御機器の出力をオンする事ができます。(リレー接点 1 に接続された制御機器のみ)

自動ドアや電気錠を遠隔操作で解錠する場合の機能で、パスワードを入力せずに解錠する事が出来ます。

解錠番号は最大 3 個まで登録可能です。4 桁の数字を登録します。

「パスワードと同じ番号」及び「0000」は無効となるので登録しないでください。また、設定した解錠番号を取り消すときに「0000」を入力してください。

<解錠番号 1 個目の登録>

- ① 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008050][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ② 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008060][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例)解錠番号を「1234」にする場合

00805012#

00806034#

<解錠番号 2 個目の登録>

- ③ 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008100][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ④ 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008110][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例)解錠番号を「0001」にする場合

00810000#

00811001#

<解錠番号 3 個目の登録>

- ⑤ 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008120][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ⑥ 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008130][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例)解錠番号を「1020」にする場合

00812010#

00813020#

7-9. 全ての設定を初期化する

本装置のオンライン設定の内容を全て初期化する事ができます。
設定内容を間違えて変更した為に、本装置の動作が不安定になった場合などに行って下さい。

※正しく設定されている項目も全て初期化されます。

サービスコード : [0098765] [#]

注意：工場出荷時には、XSL-100 機能として下記のサービスコードが既に設定されています。

- ・出力オン後に自動的にオフするまでの時間を 5 秒に設定(サービスコード:04115#)
- ・音声ガイダンス(施錠・解錠しました)の変更(サービスコード:0713#)
- ・ラインモニタ機能の設定(032# or 033# or 034#)

訪問先の電話機から電気錠・自動ドアを解錠するために押すボタンの設定

- ◇ [*]を 1 回(1 秒程度)押すと解錠(サービスコード:032# :工場出荷時)
- ◇ [*]を 2 回押すと解錠 (サービスコード:033#)
- ◇ [*] [1]を押した時に解錠 (サービスコード:034#)

訪問先の電話機から電気錠・自動ドアを解錠するために押すボタンの設定

[*]を 1 回(1 秒程度)押すと本装置が動作(サービスコード:032#)

全ての設定を初期化した時は、再びマンション用解錠機能を有効にするために、上記の設定を行う必要があります。04115#、0713#、032#

8. 装置の詳細設定(装置の「TEL」に接続した電話機にて直接設定)

遠隔操作の他に、「TEL」に接続した電話機を使って直接設定することができます。

＜本装置の「SET」ボタンを押して設定する方法＞

- (ア)本装置の TEL に電話器を接続します。
- (イ)電話器の受話器を上げ、本装置の「SET」ボタンを押すと、本装置が動作し、「ピー」という音と「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れオンライン設定が開始されます。

サービスコードは、遠隔操作の場合と同じです。

設定内容によって、サービスコードを入力し、設定を行うことができます。

9. サービスコード一覧

遠隔操作で入力するサービスコードの一覧を下記に表示します。

9-1. 制御項目一覧

詳細については、「9.制御機器の出力を制御する」を参照して下さい。

制御項目	サービスコード	内容
制御機器の出力の状態確認	[6][1][#]	出力の状態により音声ガイダンスが 流れます。 出力オンの時:「リレー1・オン」 出力オフの時:「リレー1・オフ」
制御機器の出力をオフする	[8][1][#]	指定のリレーをオフする
制御機器の出力をオンする	[9][1][#]	指定のリレーをオンする
解錠番号の入力	[解錠番号][#]	パスワードの入力無しで制御機器の 出力をオンする

9-2. 設定項目一覧

詳細については、「11.設定方法」を参照して下さい。

設定項目	サービスコード	内容
オンライン設定開始	[0000][#]	下記の設定を可能にする。
パスワードの設定	[01][パスワード][#]	初期値:7890 設定可能範囲:1~9999 パスワードに 9999 を設定した場合は、遠隔操作開始時のパスワードの問い合わせを省略できます。
呼び出し時間の設定	[021][呼び出し時間][#]	初期値:6秒 設定可能範囲:1~99秒
リトライ呼び出し機能の設定	[02][#]	リトライ呼び出し解除:[呼び出し時間の設定]を行うとリトライ呼び出しは解除となります。
ラインモニタ機能の設定	[031][#]	解除:[030][#]
出力オン後に自動的にオフするまでの時間を設定	[041][1][オフまでの時間][#]	[オフまでの時間]:秒数 解除:[040][1][#]
出力オフ後に自動的にオンするまでの時間を設定	[042][1][オンまでの時間][#]	[オンまでの時間]:秒数 解除:[040][1][#]
着信した時に自動的に出力オン・オフさせる設定	[06][1][コード][#]	[コード]設定値
		0 自動的に出力オン・オフしない(初期値)
		1 自動的に出力オフする
2 自動的に出力オンする		
自動的に出力オン・オフした後に電話回線を切断する	[037][#]	
自動的に出力オン・オフした後に電話回線を切断しない	[038][#]	
音声ガイダンスの変更	[07][1][コード][#]	[コード]設定値
		0 リレーオン・オフしました(初期値)
		1 解錠・施錠しました
		2 施錠・解錠しました
		3 施錠・解錠しました (受付電話機能<XSL-100>及びマンション用解錠機能<XSR-100>に対応)
4 エアコンオン・オフしました		

設定項目	サービスコード	内容
音声ガイド遅延時間	[022][遅延時間(秒数)] [#]	初期値:0 秒 設定可能範囲:0~9 秒
解錠番号①の登録	[008050] [解錠番号①1、2 桁目] 「#」	
	[008060] [解錠番号①3、4 桁目] 「#」	
解錠番号②の登録	[008100] [解錠番号②1、2 桁目] 「#」	
	[008110] [解錠番号②3、4 桁目] 「#」	
解錠番号③の登録	[008120] [解錠番号③1、2 桁目] 「#」	
	[008130] [解錠番号③3、4 桁目] 「#」	
全ての設定を初期化する	[0098765][#]	

10. リレー接点出力

リレーは24V1A が最大定格ですのでこれ以上の使用はしないでください。火災などの危険があります。リレー接点出力1の回路は図8-1のようになっており、工場出荷時は図8-1の通常位置になっていますが、JP2を切り替えることでリレーのMAKE 接点とBREAK 接点への接続を切り替える事ができます。ただし音声ガイドランスは変わりませんので注意してください。

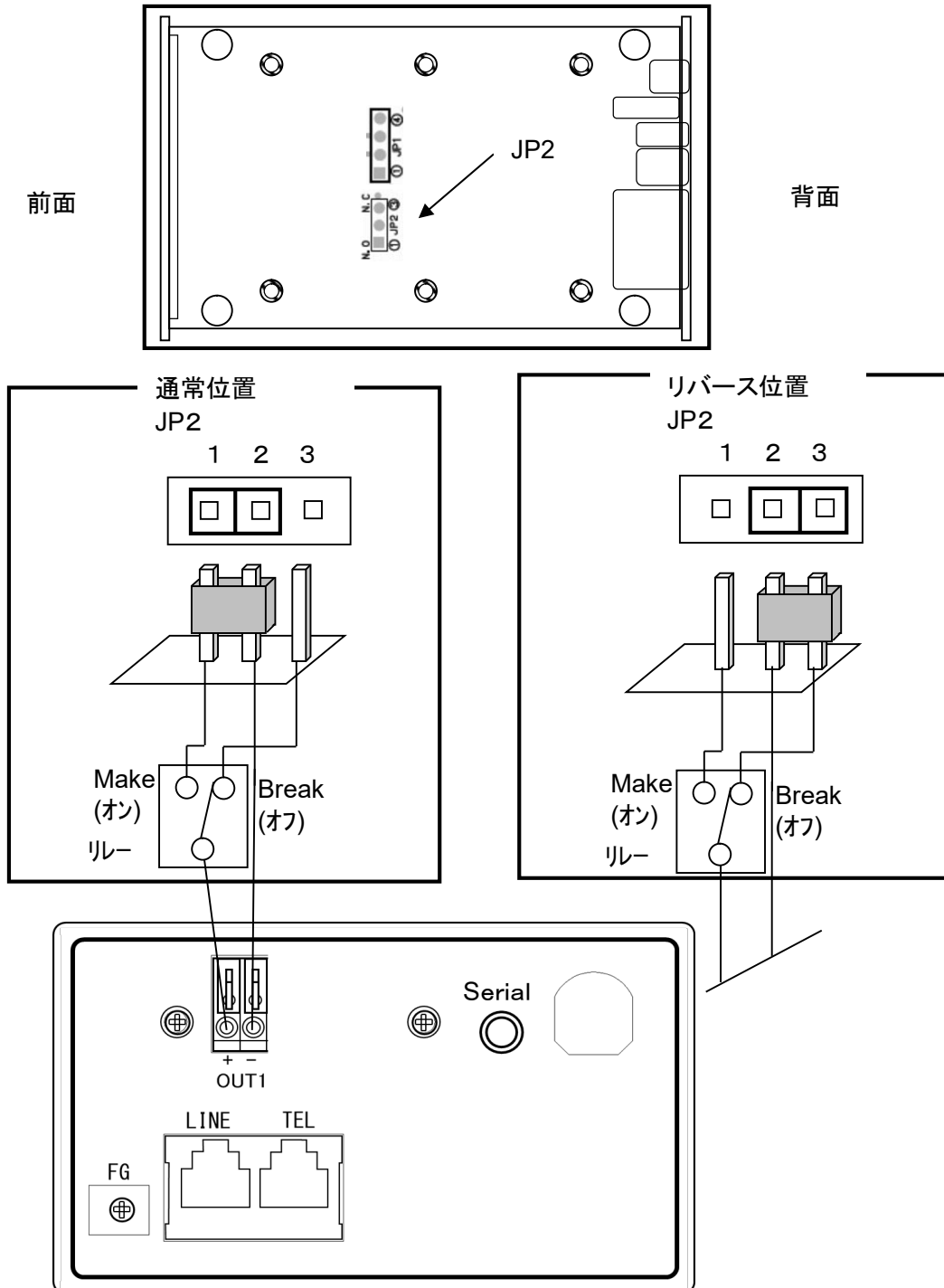


図10-1 リレー接点出力回路

11. 仕様一覧

項目	内容	備考
入力電圧	AC100V (50Hz 60Hz)	付属のアダプター(DC12V 出力)を使用する
消費電力	最大3W	
リレー接点出力端子	1	
リレー接点出力定格	最大24V 1A	絶対に定格を超えないでください。 OUT1 は、メークブレイクはジャンパで変更可
出力端子適合電線	定格適合電線 単線:Φ1.0mm、 撚線:0.75mm ² 素線径Φ0.18mm 以上 標準剥き線長 9~10mm	使用可能電線範囲 単線 : Φ0.4mm~Φ1.2mm 撚線 : 0.2mm ² ~0.75mm ² 素線径Φ0.18mm 以上
設定方式	・電話機から音声ガイダンスに従い DTMF(トーン)信号で設定 ・「TEL」に接続の電話機で設定	・遠隔設定 ・直接設定
制御方式	電話回線から DTMF(トーン)信号 で制御	音声ガイダンスあり
使用環境	温度0~40°C (湿度20~80%)	ただし結露なきこと
サイズ(W x H x D)	130 x 40 x 145mm	
質量	550g	オプション含まず

12. 使用上の注意

- 本装置を人の生命や、経済的に重大な損失を与える可能性のある機器へ使用する事はおやめください。
- リレー接点出力の最大定格は24V 1A です。
これを超える装置又は回路への接続はおやめください。
最悪装置の発煙、発火を引き起こします。
- 本装置は室内用です。
屋外および日光が直接当たる所では使用できません。
- 本装置は通常の電子回路で構成されています。
場合によっては故障する場合があります。
従って本装置の故障および不具合によって発生したいかなる責務も当社はその責を免れるものとしします。

マトリックス電子株式会社

フリーダイヤル: 0120-967-232

E-mail: mail@mtrx.jp